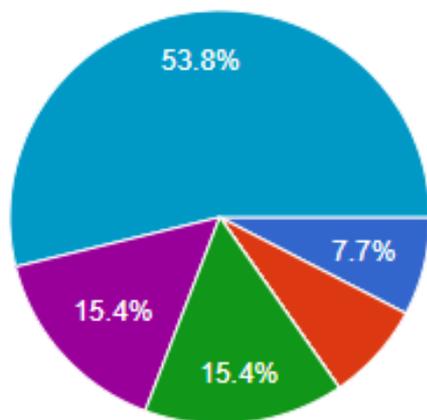


2025.10.04

「手術室における災害対策」アンケート結果

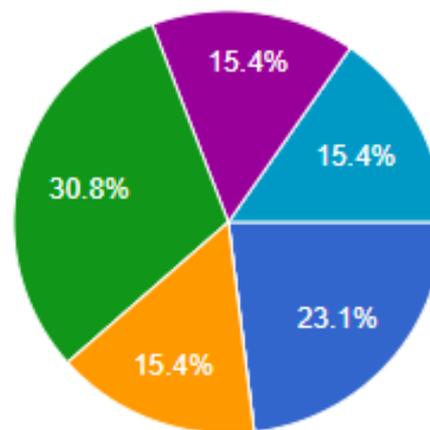
参加者：45名 アンケート回答：13名（回収率：28.8%）

1.看護師経験年数について



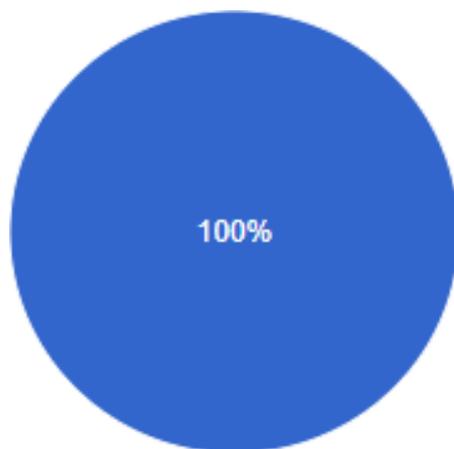
- 0～3年未満
- 3～5年未満
- 5～10年未満
- 10～15年未満
- 15～20年未満
- 20年以上

2.手術室看護師経験年数について



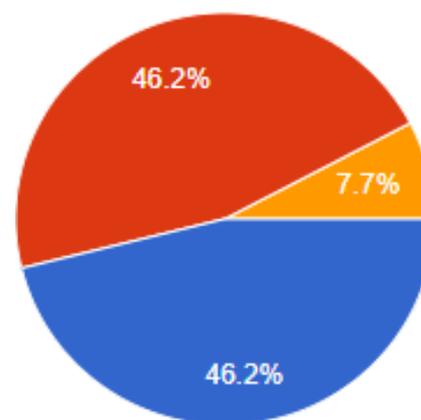
- 0～3年未満
- 3～5年未満
- 5～10年未満
- 10～15年未満
- 15～20年未満
- 20年以上

3.参加地区について



- 関東甲信越地区
- 北海道地区
- 東北地区
- 東海地区
- 北陸地区
- 近畿地区
- 中国地区
- 四国地区
- 九州地区

4.満足度

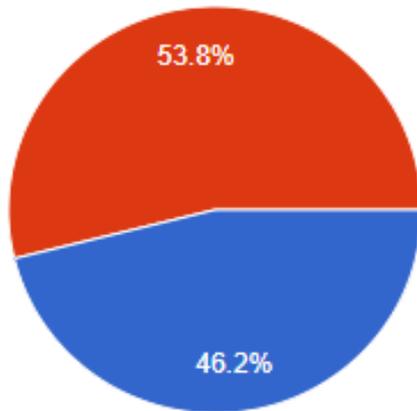


- とても満足
- 満足
- 普通
- 不満
- 非常に不満

4.の理由

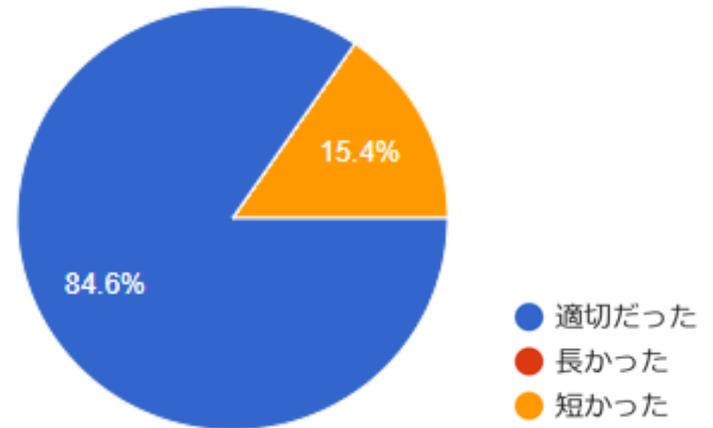
- わからないことが分かった。
- 近年の自然災害の動向や必要な備え等についても講義いただき、自施設の防災を考えるにあたり広い視点を持つことに繋がると感じました
- 近年の災害の傾向や、自施設の環境からどういった災害が予測されるかなど、幅広く学ぶ事ができた。また災害時だけでなく、防災の視点で事前知っておくべき情報や、実践的な知識を学ぶことができた。
- 具体的な事までは分かりにくかったためので
- 手術室での具体的な対策も知りたかったです
- 術中火災にとり組んでいるところでその内容が含まれていたから
- 地震だけではなく、様々な災害について学ぶことができた。特に手術室での火災については資料を見つけることが大変であったので今回のセミナーで学んだことをもとに訓練や防災を考えていきたい。
- 手術室の災害対策について基本を学ぶことができ、また自分に足りないことがわかりました。
- 今までの知識とは違うものも多く得られた
- データに基づいた災害リスクの紹介から、災害対応の実践まで幅広く学ぶことができました
- いつ起こるか分からない災害について意識を持つために参加しました。知識のアップデートと今後の行動について知ることができました。
- 災害時の対応の基本から応用まで知ることができた。
- 手術室に特化した災害研修が受講できた。自己学習できない知識を得ることができた。

5.日々の手術看護に活かすことができるか



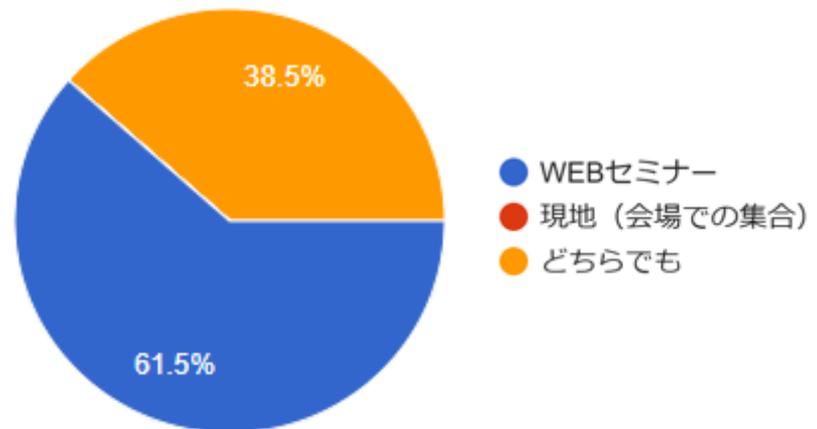
- おおいにできる
- できる
- わからない
- できない
- 全くできない

6.セミナーの時間について



- 適切だった
- 長かった
- 短かった

7.今後のセミナーの開催方法についての希望

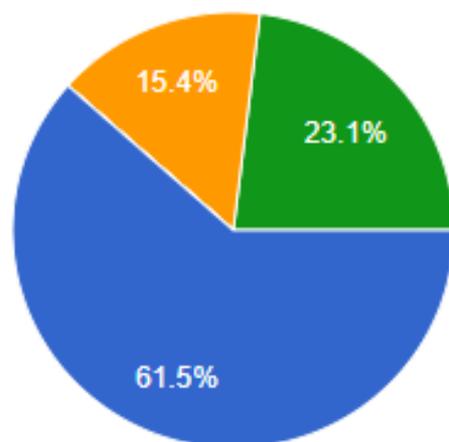


- WEBセミナー
- 現地（会場での集合）
- どちらでも

8. 今後、期待するセミナー

- 手術の体位の取り方について。
- 手術室における安全対策(針刺し事故、チューブトラブル、麻酔関連の事故などに対して予防できることや対応方法等について)、手術室 新人スタッフへの教育方法について(小規模・大規模OP室ごとの対応)
- 今回は災害への備えや基礎的な知識だったが、次回は災害時実際に行動できるような具体的な内容が知りたいと思った
- 手術室器材の扱い方等
- クリニカルラダー、手術室 管理職とは
- 中堅層への指導
- 麻酔看護
- 整形外科の術式に関するセミナー
- 災害は何度もやってほしい。いろいろな人に機会を。倫理。
- 手術室(他院内でも可)における災害訓練の組み立て・評価など
- 疼痛管理、麻酔看護、術前術後の病棟との連携
- 周手術期の看護師としての関わり方

9. 今回のセミナー開催を何で知りましたか



- 日本手術看護学会 関東甲信越地区 ホームページ
- 日本手術看護学会 関東甲信越地区からのメール
- 関東甲信越地区学会（パシフィコ横浜）での幕間の通知（ポスター）
- 職場の上司・同僚
- 職場以外の口コミ
- 日本手術看護学会関東甲信越地区集録

10.ご意見・ご感想

- 質問6では「適切だった」としたが、盛りだくさんの内容で、2時間の講義では勿体ないと感じた
- 講義資料が学会ホームページのマイページからダウンロードできる
といいです。
- 現在手術室に勤務しており、災害看護CNSを学びながら活動しています。中島先生の災害のお話はとても興味深く聞くことができました。手術室の災害対策はとても特殊ですが、発災後に手術を継続させる必要があるため、具体的に考えていかなければなりません。今後も手術室の災害訓練など、実践に基づいた中島先生のご講義を聞いてみたいです。